栃木県眼科医会理事会議題（令和元年度第3回）

日 時：2019年9月18日（水）　午後7時20分

場 所：宇都宮市医師会館

出席：【会長】吉澤徹　【副会長】石﨑道治、釣巻穰　【理事】青瀬雅資、井岡大治、稲葉全郎、井上裕治、上田昌弘、大久保彰、大塚信行、大柳静香、久保田芳美、斎藤信一郎、関本慎一郎、高橋雄二、堤雅弘、橋本尚子、細川美奈子、渡辺芽里　計19名

欠席：【理事】永田万由美、金子禮子　【監事】旭英幸、原裕　【顧問】柏瀬宗弘、川島秀俊、妹尾正、新井田孝裕、宮下浩　計 9名

《会長挨拶》

皆さんこんばんは。令和元年の理事会もこれで３回目を迎えます。本日も急ぎ決めなければならない多くの議題がありますが、もうひとつ、来年度は会長選挙と役員改正の年となります。これについても早めの対応を考えていく必要があります。理事会全体で、オープンな話し合いをしていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

《総　務》

報告１．日眼より連絡の眼科専門医更新時の臨床証明について　【吉澤】

届いた申請書のすべてに証明・捺印を行った。（締め切り：9月末日）

報告２．令和2年度会費免除申請について　【斎藤】

本会では　原孜先生が該当する。

事務局より申請の可否について手紙を送付し、その返事に基づいて手続きをする。

報告３．会員の変更　【斎藤】

勤務先変更　B　佐藤　彩　（おちあい眼科）

協議１．令和元年度都道府県眼科医会連絡会議（11月9（土）-10日（日）東京コンファレンスセンター品川）について　【吉澤】

吉澤会長出席予定。提出議題なし。

都道府県眼科医会との連携を強化する目的で、今年度より2日間に渡り、開催される事となり、事実上6月の代議員会を補完することになった。また、眼科医連盟協議委員会も19日夕に開催される。

協議２．日眼医より依頼の都道府県眼科医会事務局運営についてのアンケートについて　【斎藤】

専用の事務所→あり、職員の人数→１人、正規雇用かどうか→非正規など。事務局より回答をメールで送付済。

協議３．来年度会長選挙について　【斎藤】

選挙規程の確認と選挙管理委員長の選任

正会員の中から選挙管理委員長一名と、選挙管理委員二名を選任する。但し、理事はこれを兼任することはできない。(選挙規程第2条、第3条)

今回、選挙管理委員長として、過去の理事会員の実績を考慮し、4名の候補者を選出した。

（その後、当事者と連絡を取り、了承を得たため、福島一哉先生を選挙管理委員長とし、城山力一先生と苗加謙応先生に選挙管理委員に就任していただく事になった）

現在の選挙規定の第10条、「開票日は投票締め切り日の2日後とする」は、郵便が遅れた場合を考慮し、「3日後とする」に文言を変更した。

選挙管理委員会は、当選者の任期開始前４か月から２か月の間に選挙に関する必要事項を告示しなければならない。等、選挙規定についての正規書類を出席者に配布し、内容の確認をおこなった。

同時に来年度の理事会の役員改選、新入理事の推薦、などについても、理事会の席で協議を進めてゆく予定。

協議４．J&Jへの宛名ラベルについて　【吉澤】

昨年と同様に、勤務先住所で提供する。

《経　理》　【堤】

報告１．第42回獨協医大眼科・栃眼医合同講演会収支報告

収入の部　202,740円（AB会員57名、C会員6名、源泉税含む）

支出の部　574,247円

差額の371,507円を眼科医会一般会計より負担。

報告２．日眼医からの「都道府県眼科医会活動助成金」の件

日眼医より本会口座に8月9日(金)10万円が振り込まれた。領収証送付済。

協議１．栃木県眼科医会理事会交通費の件

理事会参加の際、交通手段が公共交通機関を利用の理事より、タクシー代の支払により自己負担が発生するため改善できないかとの要望があり討議。

上限3000円での負担・宇都宮～医師会館のみタクシー代を認める等の意見も出たが、車利用の際に高速代負担や理事会自体がそもそもボランティアであることなどから、完全補填、公平維持が困難なことも意見として上がる。最終的に決をとり現行のままで変更しないことに決定する。

《学　術》　【大久保】

協議１．第9回ぶどう膜カンファレンス(9月20日(金)宇都宮グランドホテル)の件

ミニレクチャー：「Vogt-小柳-原田病とサルコイドーシスを合併した症例について」

渡辺芽里 先生（自治医科大学眼科学講座）

特別講演：「感染性ぶどう膜炎のマイブーム」

後藤 浩先生（東京医大眼科主任教授）

協議２．第８回栃木県眼科医会獨協医大眼科病診連携の会（11 月 8 日(金)　宇都宮グランドホテル

演題１：「ぶどう膜炎関連(仮)」

南場　研一先生（北海道大学大学院医学研究院眼科学教室　診療准教授）

演題２：「OCT angiography を用いた糖尿病黄斑浮腫の抗 VEGF 薬治療」

村田　敏規先生（信州大学医学部眼科学教室　教授）

協議３．第13回栃木県内科眼科関連疾患懇話会(11月21日(木)　宇都宮グランドホテル)の件

演題１：「いま改めて高血圧・動脈硬化と眼の関係を考える」

川崎　良先生（大阪大学眼科学教室　視覚情報制御学寄付講座　特任教授）

演題２：「糖尿病診療の最前線−糖尿病診療ガイドライン２０１９を踏まえて一」

荒木栄一先生（熊本大学糖尿病・代謝・内分泌内科 教授）

協議４．第 78 回栃木県眼科集談会の開催について

9 月 20 日(金)　演題募集締め切り

11月15日(金) 宇都宮市医師会館講堂で開催予定。

協議５．第 79 回栃木県眼科集談会について（自治医科大学）

2020 年 4 月 12 日(火)　自治医大研修センターにて開催予定

協議６．栃木県医学会より依頼の「第 59 回栃木県総合医学会ポスター発表の参加者募集」（推薦依頼）の件

自治医科大学・獨協医科大学　両大学に依頼した

《医療安全対策及び福祉》　【関本】

報告１．「眼科コ・メディカルための眼科学ガイド　改訂第16版」　購入について

施設長宛に送付、9月15日で締め切った。

事務局で取りまとめている。

協議１．令和元年度栃眼医忘年会について（12月4日(木)）

宇都宮　ホテルニューイタヤで開催予定

協議２．第91回栃木県眼科医会ゴルフコンペの件

10月20日(日)　宮の森カントリークラブで開催予定。

《保　険》　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【井岡】

報告１．令和元年度都道府県眼科医会保険担当理事連絡会（10月28日（月）～11月27日（水）バーチャル）について

井岡大治理事出席、議題は1題提出

【質問事項】

現状ではコンタクトレンズ装用中の患者は除外疾患の確定診断がついた場合のみ、コメントを入れ精査を行い出来高算定が許されている。コンタクトレンズ装用中の患者に新たな疾患が疑われ、精査をしても確定診断に至らなければ、時間と労力を割いて精査しても包括のCL検査料しか請求できない。。

このため会員から 疑い病名でも、出来高算定ができる仕組みを考えてもらえないか、との要望があった。過剰診療の温床になりかねない問題ではありますが、真面目に患者に向き合っている眼科医の一助になればと考えている。コンタクトレンズ検査料の除外項目に疑い病名での出来高算定を認めていただきたい。

報告２．消費税増税による診療報酬改定について

消費税増税に伴う診療報酬改定と一部薬価改正が８月19日（月）に告知された。

詳細は厚生省のHPに掲載されている。

主な眼科の変更は、初診料282点が288点に６点増額、再診料は72点が73点に１点増額だった。

報告３．千寿製薬アジマイシン点眼薬の薬価収載について

用法及び用量〈結膜炎〉　通常、成人及び7歳以上の小児には、1回1滴、1日2回2日間、その後、1日1回5日間点眼する。

〈眼瞼炎、麦粒腫、涙嚢炎〉　通常、成人には、1回1滴、1日2回2日間、その後、1日1回12日間点眼する。

病名転帰がなければ片眼の場合、１回処方は１本（2.5ml）までと考える。

両眼処方の場合の判断は不明だが、来年9月までは２本以上は査定される可能性が高いと思われる。

次回の審査員連絡会までに情報を集めて協議しようと考えている。

報告４．小山の医療機関からの質問について

７月31日（水）に小山の医療機関から返礼についての質問を受け、審査員と協議してきました。８月６日（火）に日眼医に「栃眼医が対応ありません」とのメールを送ったようですが、その時期には対応を開始していた。

先日回答の文章が完成し、理事会の後に質問者に回答する予定。

協議１．令和元年度第2回健保研究会（11月15日（金）宇都宮医師会館）の開催について

例年通り、事前に質問を受け付け回答できるよう準備する。

協議２．令和元年度第2回審査員連絡会の開催について

11月後半に予定している。

《広　報》　**【大柳】**

報告１．栃木県眼科医会報第52号を発行した。

《学校保健》　**【久保田】**

協議１．令和元年度栃木年度栃木県医師会学校保健部理事会につて（9月26日(木)護国会館）

久保田理事出席予定

協議２．第43回全国眼科学校医連絡協議会（9月29日(日)東京グランドホテル）について

久保田理事出席予定

《公衆衛生》　**【大塚】**

報告１．目の愛護デー記念行事準備委員会（8月8日(木)宇都宮市健康センター(ララスクエアビル9階）開催報告

大塚理事、参天製薬担当者・千寿製薬担当者　出席

協議１．目の愛護デー記念行事（10月6日(日)宇都宮市健康センター(ﾗﾗｽｸｴｱﾋﾞﾙ9階))開催について【大塚】

目の健康講座：「中高年に多い目の疾患と早期発見の秘訣」

新井田孝裕先生（国際医療福祉大学保健医療学部視機能療法学科　学科長・教授）

無料相談員：田口裕隆先生（栃木市　大平眼科）　（手紙は事務局より発送済）

福澤裕一先生（小山市　小山福澤眼科）

日程：14：00～15：00　目の健康講座

15：00～(受付15：30まで)　目の無料相談

15：00～(受付15：30まで)　眼圧無料測定

下野新聞への投稿：久保田芳美先生に依頼。

ポスター：色　緑色　配布済み

後援依頼：栃木県　宇都宮市　栃木県医師会　宇都宮市医師会　承認済み

（栃木県は保健福祉部健康増進課難病対策担当宛、宇都宮市は、健康増進課宛に送る。）

協議２．目の愛護デー記念行事広告

下野新聞と読売新聞に各々半３段　2回　掲載予定

CRT栃木放送　60秒生CM　6回予定

協議３．日眼医より依頼の「目の愛護デー実施状況調」の件

日眼医提出書類（10月29日(火)締め切り）

実施状況調

ポスターとパンフレットも同封する。

協議４．次期一次救急診療当番の件

当番表の確認をした。

協議５．災害対策について　【石﨑】

目的は、都道府県眼科医会での「大規模災害時の行動指針」の作成等の災害対応の検討。日眼医より依頼の栃木県「防災対策担当役員」に石﨑理事が担当となる（9月30日）。目的は、都道府県眼科医会における災害対策の強化と日眼医との情報共有の強化。日眼医との情報共有の強化のため、栃木県眼科医会の「大規模災害時の行動指針」を作成の準備中。現時点でのポイントは会員の安否確認と診療情報（いつ再開できるか）。

出来るだけ早く行動指針が会員に届くようにしていく。尚興味のある方はネットで日本眼科医会の「大規模災害対策ハンドブック」「栃木県災害医療体制運用マニュアル（ｐ123）」をご覧ください。

協議６　栃木県スマートサイトについて　【渡辺】

盲学校や盲導犬協会、行政、当事者団体など渡辺が訪問し、作成および掲載について説明し、候補団体には許可を得た。

次回 11 月 20 日の理事会で、掲載候補施設一覧を協議する。

ＡＭＥＤ「スマートサイトによるロービジョンケア連携システム構築に関する研究」による作成費用の補助の申請期限は 2020 年 3 月 10 日まで。

申請方法は、印刷会社の明細・領収証を添えて、都道府県眼科医会から「日本眼科医会　ＡＭＥＤ担当」宛てに請求書を発行し栃木県眼科医会の口座に振り込みになる。

《医療対策》　【高橋】

報告１．令和元年度コンタクトレンズ販売管理者継続研修会（12月1日（日）とちぎ健康の森）進捗状況について

コンタクトレンズ管理者継続研修会のプログラムと申込書をダイレクトメールで栃木県眼科医会会員に送付済み。

協議１．2020 年のコンタクトレンズ管理者継続研修会の日程について

2020 年 12 月 6 日（日）の予定。講師は未定。現在打診中。

《勤務医》　【上田】

協議１．第20回全国勤務医連絡協議会（11月17日（日）東京コンファレンスセンター・品川）への出席者と提出議題

上田理事出席、栃木県からの提出議題は無し

協議２．来年度の栃木県眼科手術談話会の日程について

2020 年 6 月 5 日（金）の開催を提案したが、大久保理事より、「6 月 5 日は眼科医会研究会の候補日

の一つとなっており、再検討をお願いしたい」との意見あり。後日、獨協医科大学　松島先生に連絡し、5 月 22 日(金)の開催となる。

《男女共同参画》　【細川】

協議１．第3回全国男女共同参画協議会(2020年2月9日(日)東京コンファレンスセンター)について

締め切りは10月28日(月)

女性役員の割合　　役員総数（２１）人、　女性役員数（　６）人　　28.5%

会員区分ごとの男女別会員数

会員区分	全構成員数	女性人数	男性人数
A 会員	68 人	19 人	49 人
B 会員	93 人	42 人	51 人
C 会員	20 人	12 人	8 人
その他	0 人	0 人	0 人
合計	181 人	73 人	108

総合討論テーマ①～③その他意見について（仮原稿）

総合討論テーマ① 男女共同参画分野で、貴地区で、変わったと思う点があればお教えください。	県内で開催される講演会、談話会などで、託児所の設置可能な会場では全て託児を行った。
総合討論テーマ② 貴地区で、今後、何をしたらよいか、お考えをお教えください。そのために解決すべき問題があればそれも加えてください	男女共同参画推進については、医師として働き学ぶ上で、何が支障となっているかを明確にした上で、押しつけとならないように慎重に進めたい。
総合討論テーマ③ 貴地区で、男女共同参画推進のために、大学（大学・病院・眼科医局）に求めたいことがあればお教えください。	県内には自治医科大学と獨協医科大学があり、男女共同参画については、学内の取り組みや支援がなされている。県眼科医会に何をしてほしいかを確認していきたい。
その他ご意見 （何でも結構ですが、特に日本眼科医会への要望があればお願いします）	全国眼科男女共同参画協議会では女性医師にかかわる委員会や部会の設置を推進されているが、行うにはホテルなどの会場費用、講演会講師費用、立食パーティ費用、託児費用など 100 万以上かかる。栃木県では講演会、集談会などの開催回数が年１２回あり、これ以上増やす必要性がない。

この原案で協議会へ提出することに決定する。

《日眼医連盟》

2019年6月13日(木)自由民主党眼科医療政策推進議員連盟総会が行われた。今回は日本眼科医連盟が「視覚障害者を取り巻く問題」をテーマとして提供し、日本眼科医会が取り組むスマートサイトの構築、災害時の視覚障害者支援、視覚障害者支援活動への助成などを紹介し、視覚補助機器開発の課題についても提言をおこなった。

《その他》

第18回宇都宮医師会市民フォーラム「色のついた目の病気～白内障・緑内障・加齢性黄斑変性症～」講師：井上裕治先生・12月14日(土)開催について、栃木県眼科医会の後援を承認した。

次回理事会は、11月20日(水)に開催する。

(斎藤信一郎　記)